

志村二中だより

平成29年9月1日(金) 第7号



まじめ

校長 石上 和宏

教育目標

- ・自ら考える力
- ・互いに思いやる心
- ・共にやりぬく力

1年生：132名(4学級) 2年生：106名(3学級) 3年生：115名(3学級) 計353名(10学級)
保幼小中連携教育 「小豆沢学びのエリア」 <志村二小 志村四小>

夏のカンボジアで感じた平和の大切さ

校長 石上 和宏

長いと思った夏休みもあっという間に終わり、いよいよ2学期が始まりました。皆さんにとってどのような夏休みでしたか。

充実していましたか、それとも暇をもて余していましたか。

私はカンボジアに社会科の先生方と視察に行きました。現地に2泊、帰りは機中泊という慌ただしいツアーでしたが、多くのことを学んできました。カンボジアといわれてピンとこない人でもアンコールワットといわれると「ああ、聞いたことある」人が多いのではないですか。しかし、世界地図でサッとさせる人は少ないでしょう。地図帳の33ページをみてください。首都はプノンペンとあります。そして、トンレサップ湖という湖が描かれています。トンレサップ湖の写真が地理の教科書37ページにあります。雨季と乾季の写真です。今は雨季なので、水を満々とたたえています。教科書の写真そのものでした。観光船で水上生活をしている方の家を訪問しましたが、漁業をしているとのことで、網が家の横にほしてありました。普段の買い物は水上マーケットで行い、購入できないものをシュムリアップの街に行って買うそうです。小学校は2部制をとっていて、午前と午後に分かれて通学していました。カンボジアは30年前のポルポト政権のとき、国内が混乱し、多くの死傷者を出し、多くの地雷が埋設されました。今、地雷除去のために日本の団体も協力していますが、なかなか進んでいません。北部と西部には400万から600万個の地雷があるといわれています。地雷と知らず、遊んでいた子どもがケガをしたという話もあります。内戦による影響が今でも多く残っています。戦争は多くの憎しみや悲しみしか残しません。日本も70年以上前に戦争をしていました。社会科で学習した日清・日露

戦争から続く第一次世界大戦であり、太平洋戦争です。当時、戦争遂行をしたのは軍部ですが、その背景にはマスコミやそれを支持した国民がいなかったとはいえません。私たち一人一人が平和の大切さを忘れずに、二度と戦争をしないようにしていかなければいけません。

カンボジアには世界遺産もあります。それはアンコールワットやアンコールトム等です。アンコールワットの壁画には、チャンパー(今のベトナム南部にあった国)やシャム(今のタイ)との戦いが描かれています。また、大きな木が遺跡を飲み込んでいるような場所もあり、見ごたえがありました。そして、素晴らしいアンコールワットの修復をしているのが上智大学のチームだと聞き、嬉しくなりました。日本の大学が海外で活躍・貢献しているのを見聞きすると嬉しくなります。今回は、社会科の研究会の視察旅行ということで多くの学びがありましたが、一緒に参加してくれた先生方との交流も大事だということを痛感しました。それは、同じものを見ていても、感じるところが一人一人違うのです。例えば、アンコールワットを見ても、雨上りのアンコールワットにきれいな虹がかかったことに大変喜んだ先生がいました。また、ジャングルの中の遺跡に歴史を感じたという先生もいました。精巧につくられた石組にとっても関心を示した先生もいました。人それぞれです。

皆さんも、2年生の移動教室にはじまり、3年生の修学旅行と校外に出かけます。多くのことを仲間とともに学んできてほしいと思います。そして、3学期には1年生のスキー教室があります。いずれも仲間とともに深く学ぶ機会となることを願っています。

第1学年

学年主任 新井 博幸

中学生になって初めての夏休みはどうでしたか？小学生の時と違い部活動や、学習への取り組み方の違いに、戸惑いながらも計画的に、充実した夏休みを過ごしてくれたと思っています。

2学期は、9月に生徒会役員選挙、10月は70周年記念式典、文化発表会、11月は定期考査、12月はスキー教室への準備も始まります。すべてが初めてのことばかりですが、いろんなことにチャレンジする2学期になればよいと思っています。

保護者の皆様、三者面談の折には、お忙しい中、ご協力ありがとうございました。ご協力に感謝します。

今学期も、ご協力お願い申し上げます。

第3学年

学年主任 村上 祐子

今日から2学期が始まります。夏休みはどのように過ごしていましたか？それぞれだと思います。思うように進まなかった人も、今日から新しい気持ちでスタートしていきましょう。

今学期も、修学旅行や70周年式典、文化発表会など行事があります。運動会のようにみんなで力を合わせたら、また最高の思い出ができます。勉強も行事もまじめに取り組んでいきましょう。

保護者の皆様、休み中の三者面談の折にはご多用の中、ご協力ありがとうございました。感謝申し上げます。2学期は進路選択の学期となり、面談なども予定しています。今学期もご協力をお願い申し上げます。

第2学年

学年主任 橋本 真紀子

長い夏休みどのように過ごしたでしょうか。多くの部活動で3年生が引退し2年生が主体となって充実した活動を行っていたようです。またじっくり自分の時間を過ごした人もいたことでしょう。

中学校生活の折り返し地点である2学期のスタートです。生徒会の中心として諸活動では先輩として学校をひっぱっていかなくてはいけない時期です。志村二中の中核としてしっかり役割を果たしてほしいと思います。

移動教室、70周年式典、文化発表会など大きな行事も続きます。積極的に向き合い成長の糧となる取り組みを期待しています。

保護者の皆様、三者面談ありがとうございました。今学期もよろしくお願ひいたします。

日本語学級

主任 高橋 仁子

日本語学級の在籍数は現在21名です。そのうち本校の生徒は3名です。中国、フィリピン、ネパール、インドネシア、タイとつながる生徒たちです。普段は個別学習をしていますが、『夏休みの勉強会』は普段顔を合わせたことがない通級生たちと一緒に学習する良い機会となりました。日本語学習、夏休みの宿題、進路に向けての準備に取り組みました。

日本語を学ぶだけではなく、母国の文化を本校の生徒に伝えてもらう活動もしています。その一つとして、自分たちとつながる国についてのレポートを書いています。生徒昇降口（1階南階段前）に掲示してあります。ぜひご覧下さい。

今学期も、通級生たちの日本語学習とともに、日本と外国とをつなぐ取組もしていきたいと思っています。よろしくお願ひします。

広島・長崎平和の旅

8月5～7日・8～10日の日程で、広島・長崎平和の旅に2年生の代表生徒が1名ずつ参加し、平和について学びました。

広島

2年2組 松田 理玖

僕は平和の旅に行って「平和とは何か」について考えました。

1日目。平和祈念資料館へ行きました。僕の心に強く残った展示物は「核実験を目撃させられ、皮膚がんを発症した住民」という写真です。この住民の皮膚は、はれ上がっていて、核は目撃しただけでこんなにダメージがあるのかと衝撃を受けました。

2日目。記念式典に参列しました。8時15分になり、静寂の中に響き渡る鐘の音が心にしみ入りました。また夜になり、灯籠流しを体験しました。流れている灯籠を見ていると、当時その数以上の死体が川に浮いていたのだらうなと思い、とても悲しくなりました。

3日目、被爆体験談を聞きました。資料館には残っていない戦後の広島について聞きました。学童疎開をしていた人たちは、市内にいた家族を失い戦争孤児になった人が多かったことなどを聞き、戦争は悲惨だと改めて思いました。

僕は3日間の体験を通して、平和とはつらい思いをしている人がいない世界のことだと思いました。だから身近なところからつらい思いをしている人を減らせるように努力していこうと思いました。



長崎

2年2組 宮田 有彩

1945年8月9日11時2分、長崎県に原子爆弾が投下されました。私は長崎平和の旅に参加して、戦争の恐ろしさや平和の尊さを感じました。

1日目は被爆体験講話で14歳のとき被爆した深堀譲治さんにお話を伺いました。爆心地から1500メートルまでは、ほとんどの建物が全壊し、死者は7万人以上でとても被害が大きかったそうです。深堀さんは、「核を使わないで地球を平和にしたい」とおっしゃっていました。私は原爆が想像以上に恐ろしいものだと思います。また、原爆が落ち、一瞬で多くの人の命が奪われてしまうのは本当に恐ろしく、当時の人々の悲惨さが心に残りました。

2日目は平和式典に参加しました。被爆合唱などから平和を願う気持ちが伝わってきました。心に残った言葉は「長崎を最後の被爆地に」という言葉です。私はこの言葉を聞いて、もう二度と原爆が落とされ、被爆する人がいないでほしいと思いました。

3日目の長崎原爆資料館では原爆が落ちた時刻の11時2分で止まっている時計や原爆投下後の写真、原爆の被害によって残されたものなどが展示されていました。展示されているものや写真から、想像以上に原爆投下後の様子は残酷でとても衝撃を受けました。

私は今回の長崎平和の旅で学んだことがたくさんあります。長崎を最後の被爆地にするために学んだり体験したりして感じた原爆の恐ろしさや平和の尊さをたくさんの人に伝えていきたいと思います。そして、深堀さんがおっしゃっていたように「核を使わないで、地球を平和にしたい」と私は強く感じました。

マレーシア訪問

今年度、板橋区では『中学生マレーシア訪問』が実施されました。

2年1組 船山 稜平

僕は8月20日～25日までの間、板橋区中学生海外派遣事業でマレーシアに行きました。板橋区内の中学校から1名ずつ計23名の生徒が参加しました。4回の事前学習ではマレーシアについて学び、コミュニケーション力の向上、プレゼン、おみやげの用意などをしました。

事業初日、僕は初の飛行機に興奮しましたが、計7時間半以上のフライトでとても疲れました。2日目、ペナン植物館に行きました。セレモニーをした後、館内を散策しました。山の中にあり、囲いもないため、野生の猿も見ることができました。訪問の記念として植樹式を行いました。スネークツリーという木を僕が植えました。この木は40年ほど経つと60m位に成長する木だそうです。いつか成長した記念樹を見に行けたらと思いました。2～4日までは夕方からホームステイ先で過ごしました。そこのお母さんは英語がわからず、使っているのは中国語でした。コミュニケーションに苦労しましたが、その家に22歳のお兄さんがいて、日本語を勉強していたので英語と日本語でやりとりができました。3日目は現地校訪問をし、授業に参加しました。体育ではポートボールでたくさんの汗をかきました。多くの生徒と交流し、仲良くなることができました。4日目はチャイニーズガールズスクールを訪問し、調理実習と中国語の授業を受けました。5日目の朝、ホームステイ先とお別れをし、宗教寺院を観光しました。クアラルンプールに戻り、市役所を表敬訪問し、市長さんと会食をしました。この旅で英語を使いコミュニケーションをすることや、マレーシアの様子や文化を体験することができてたいへんよかったです。

2学期の予定

《9月の予定》

1日(金) 始業式・集団下校訓練

7日(木) 連合陸上大会

9日(土) 学校公開・学校説明会

13日(水) 移動教室始 (2)

15日(金) 移動教室終 (2)

22日(金) 生徒会役員選挙

27日(水) 修学旅行始 (3)

29日(金) 修学旅行終 (3)

《10月の予定》

5日(木) 定期考査Ⅲ

6日(金) 定期考査Ⅲ

14日(土) 70周年記念式典

17日(火) 進路説明会

28日(土) 文化発表会

《11月の予定》

6日(月) 三者面談始 (3)

14日(火) 三者面談終 (3)

18日(土) 学校公開

20日(月) 定期考査Ⅳ 始

22日(水) 定期考査Ⅳ 終

《12月の予定》

4日(月) 三者面談始

11日(月) 三者面談終

25日(月) 終業式

